

## 【Sphere】ゲーム版シナリオテキスト

連動イベント 01-a

ID	話者	台詞 / ト書き
		// ■ゲリラライブ会場(アニメのクリアライブ会場と同一)
	イオン	ユーザーさん、キョータロー。 もっと急いでください。 クリア姫に訴えられてしまいますよ。
	キョータロー	わかったから落ち着けて…… つーか俺も訴えられるのかよ？ オーディション通ったのはお前らだろ。
	イオン	合宿は全員で行いましたし、 連帯責任が発生しています。 ね、ユーザーさん。
	キョータロー	そんな責任あつてたまるか。 ……つたくクリア姫のヤツ、 いきなり呼び出しやがって。
	イオン	楽しみにしていたライブでしたが、 ここまで突然だとは 思いませんでしたね。
	テルミ	おーい、キミら遅いよ。 出演者なんだから、 1時間前には入っておかなきゃ。
	イオン	おお、テルミ。 ユーザーさんの応援に 来てくれたのですね。
	テルミ	気が向かなかつただけだよ。 近くまで寄つたから、なんとなく。
	キョータロー	派手に寝グセついでるぞ、お前。 ベッドから直行してきたろ。
	イオン	……クリア姫もまだ来てないね。 ゲリラライブやりたきゃ、 主役は最初に来とけて話だよな。
	イオン	カツマにも声をかけたのですが、 来ていないみたいですね。
	ミアラカ	先生ー、イオンさーん！ 応援に来ましたよー！
	イオン	おお、ミアも来てくれて…… む？ そちらのかたは……。
	レイチェル	い、いやー、あの一、あはは。 お久しぶりっ。
	キョータロー	アンタはレイチェル……。 なんでまたここに？
	ミアラカ	なんかウロウロしてたんで、 誘っちゃいましたっ。 夜までは空いてるんでしょ？
	レイチェル	いやー、夜までに戻らないと、 とは言ったけど、 空いてるとは言ってないかなー。
	イオン	空かせましょう、レイチェル。 カツマの代わりに、ユーザーさんを 応援していただけると幸いです。
	レイチェル	そ、そーだね。 カツマの代わりに、 ちよつとぐらいなら！
	キョータロー	あんた、カツマに会つたこと あつたっけ？

	クレア	来てくれたようね、 トラブルシューターくん。 急な呼び出しをお詫びするわ。
	イオン	おお、クレア姫。 ユーザーさんは来ますとも。 勝者の責任がありますから。
	キョータロー	ギリライヴってのが 引かかるけどな。 用意は万全じゃなかったのか？
	クレア	事情が変わってしまったの。 変わりやすい事情だった、とも 言えるかしら。
	クレア	さらにこの事情というやつは、 渋谷にいるマイノリティ達の 生死にも関わるらしいの。
	ミアラカ	渋谷のマイノリティ……？ どっかで聞いたような ULAワードですね、レイチェルさん。
	レイチェル	そーかなー？ どーかなー？
	キョータロー	なんだかよくわかんねーけど、 生死とはまた穏やかじゃねえな。
	クレア	もちろん比喻よ。 人によっては直喩にも なるでしょうけれど。
	テルミ	持って回った言いかたしちやって。 これだから天才って腹立つんだよね。
	ミアラカ	て、テルミさん、ライブ前ですよ。 ジェラ嫉妬でUNPL押しちゃ ダメですからね？
	クレア	多少のUNPLは問題にしないわ。 むしろ、世間の注目を集められるので あれば手段は選ばなくてもいい。
	イオン	それぐらい、今日のライブを 盛り上げてほしいと言うことですね、 クレア姫？
	クレア	そういうこと。 トラブルシューターくん、 貴方の実力は評価しているわ。
	クレア	貴方と私が戦えば—— 貴方と私のACTが戦えば、 世界はこちらに目を向ける。
	クレア	貴方にとっても、 悪い話ではないはず。 その集客力を貸してもらおうわ。
	イオン	ふむ…… ただのライブとは思えない 気迫ですね、クレア姫。
	クレア	ええ、ただのライブではないわ。 イレギュラーにして、不本意—— しかし、やらなければいけない。
	キョータロー	どーも切羽詰まってるっぼいな、 【ユーザー名】。 ここは黙って乗ってやるか？
	テルミ	助けてほしかったら、 助けろって言えばいいのに。 素直じゃないよね。
	イオン	ふふ。姫の素直な『助けて』は、 他の特別な相手に 言われるべきものなんでしょう。
	イオン	どちらにせよ、望むところです。 英雄と姫の直接対決。 これほど燃えるステージはありません。
	イオン	ユーザーさんっ。 勝者の覚悟と実力を、 クレアファンに証明しますよ！
	キョータロー	よっしゃ、いったれ 【ユーザー名】！

	テルミ	ギッタギタにしていいよ！ 【ユーザー名】！
	ミアラカ	遠慮しちゃいけませんよー、 先生っ！
	レイチェル	と、とりあえず 【ユーザー名】、 頑張れー！
	クレア	リハは必要なさそうね。 それでは、さっそく――。
	クレア	さっそくこのライブを 渋谷の裏にまで届けましょう、 シレーナ。
	シレーナ	了解です、クレア。 ――わたしは歌います。あなたの歌を。

【Sphere】 ゲーム版シナリオテキスト

ID	話者	台詞 / ト書き
		//シレーナとのバトル
		//バトル終了

## 【Sphere】ゲーム版シナリオテキスト

連動イベント 01-b

ID	話者	台詞 / ト書き
	ミアラカ	やたー！ 先生の勝ちですね！
	キョータロー	あのクレア姫相手に、 結構イケてたじゃねーか！ なあ、レイチェル——あれ？
	テルミ	あの子なら、誰かに呼び出されて 飛び出してっつたよ？ なんか人手が足りないんだって。
	キョータロー	ああ……あっちの話か。 あちはあっちで、 いろいろと面倒そうだな。
	イオン	いかがでしたか、クレア姫？ 世界は盛り上がりましたか？
	クレア	まあまあの結果かしら。 あいつがなにをしようとも、 対処可能な領域には達しているわね。
	ミアラカ	あいつ……？ マイノリティからずいぶん 対象が限定されましたね。
	クレア	この注目度を利用できれば、 シレーナのオンステージも より効果を見込める。
	クレア	私がかここまで お膳立てしてあげれば、 さすがに大丈夫でしょう。
	クレア	——まったく。 世話を焼かしてくれるわね。 ウラ側の駄々っ子王子くんは。
	イオン	ウラ側の駄々っ子王子……。 そんな感じの、受け身でするい管理人と 前に会いましたね、ユーザーさん。
	キョータロー	……よくわかんねえけど まさか最後はひとりだけで 歌うつもりかよ？
	クレア	そのつもりよ。 これは私が立案した、 私のためのライブなのだから。
	テルミ	オーディションまでして、 いきなり呼び出してといて？ ずいぶん勝手じゃん。
	ミアラカ	テルミさんっ。 つかかっちゃダメですってば。
	テルミ	わかってるよミアラカ。 でもさ、利用されてあげたんだから イヤミぐらい言っとこーよ。
	イオン	……ふむ。そのステージを 届けたいのは、それほどまでに 特別な相手なのですか、クレア姫？
	クレア	さあ、どうなのかしらね。 ご想像にお任せするわ。
	クレア	まあ、客層を想定しているという 読みは当たっているわね。 それも、かなり限定されている。
	テルミ	クレア姫ほどのクリエイターが、 特定の人間に歌を作るっていうの？
	クレア	私かどうか、は関係がないわ。 あらゆる歌は、相手がいるからこそ 届けられる、特別なものでしょう。

	クレア	完成した歌を、普遍的な感傷として受け取るかどうかは、個人の性質と判断に委ねられるけれど。
	ミアラカ	ほほう…… なんだかよくわかりませんが、プロっぽい視点ですねえ。
	キョータロー	俺ら、いつも自分のステージで必死だからな……。
	テルミ	……特別な相手に届くなら、他の人間にも届く、か。そんな曲、作れるかな。
	クレア	さて、あまりゆっくりもしてられないようね。もう少し世間を賑わせないと。
	イオン	もし舞台が盛り下がるようなら、いつでも呼んでくださいね。ユーザーさんが巻き返しますから。
	クレア	そうね。注目度が足りないようであれば、また利用させてもらうわ。
	イオン	ふむ……誰であろうとも、特別な観客がいるのですね。
	イオン	ユーザーさんも、ステージを楽しみにしてくれている、観客の視線を忘れてはいけませんよ？
	キョータロー	【ユーザー名】の活躍が一番楽しみにしてんのはお前だろー、イオン。
	イオン	む……バレましたか。わたしはただのヒロインであって、決して特別ではありませんが。
	イオン	誰が観ていなくともわたしはずっと観ていますからね、ユーザーさん。うふふつ。
	イオン	さて、クレア姫のオンステージ、わたし達も見届けておきましょう。……おや、あれは？
	クレア	……現れたようね。
	クレア	それじゃ、また、トラブルシューターくん。引き続き、有意義なステージをよろしく。
	ユウト	……なんで急に、こんなにユーザーが……？
	クレア	さあ、シレーナ。あとは全力で歌いなさい。
	シレーナ	了解です、クレア。 ——開演の時間です。
	ユウト	……………！
	クレア	感謝したら？ ダークヒーロー気取りくん。
	ユウト	久しぶりじゃん。 なんか用？
	クレア	見てわからない？ 助けてもらいに来たの。